

特許的思考によるアイデア発想法

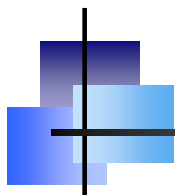
～企業競争力を高める価値ある特許を取得するために～

講師 弁理士 橋 和之

一燈国際特許事務所

tachibana@itto-pat.jp

Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved



1. 特許的思考によるアイデア発想の狙い

■ 競争力の源泉は知的財産（発明）

(1) 競争上の優位性を作り出す



- ・差別化戦略
- ・質の高い発明を生み出す

(2) 相手の反撃への対抗策を持つ



- ・差別化した価値を特許で守る
- ・迂回を阻止する
- ・広くて強い特許を取る

(3) 競争相手を実際の敵にしない

- ・特許で参入障壁を築く
- ・戦略特許

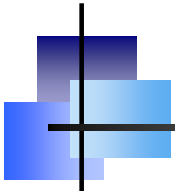
発明 ⇒ 企業の優位性、競争力を生み出す本質的なもの

特許 ⇒ 戦略に使える有効な武器

そのための
発想法を学ぶ

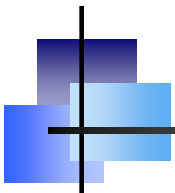
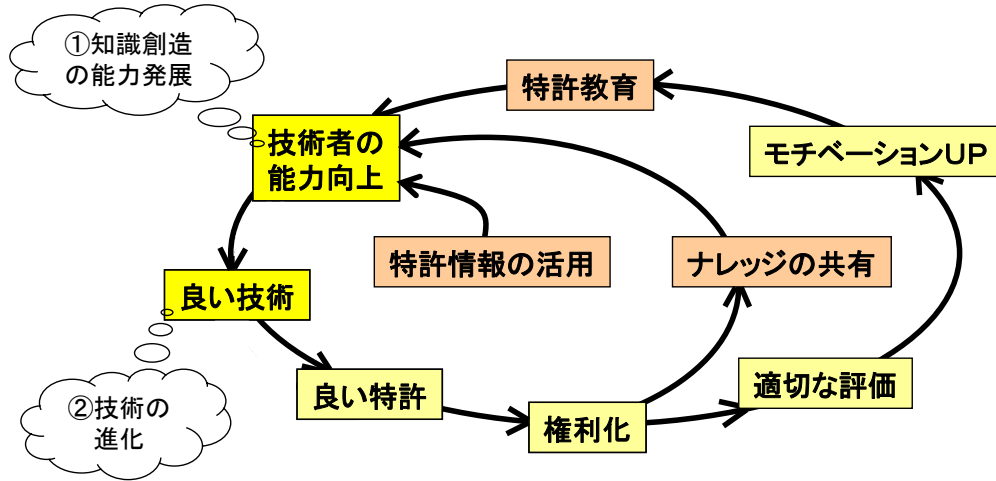


Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved



1. 特許的思考によるアイデア発想の狙い

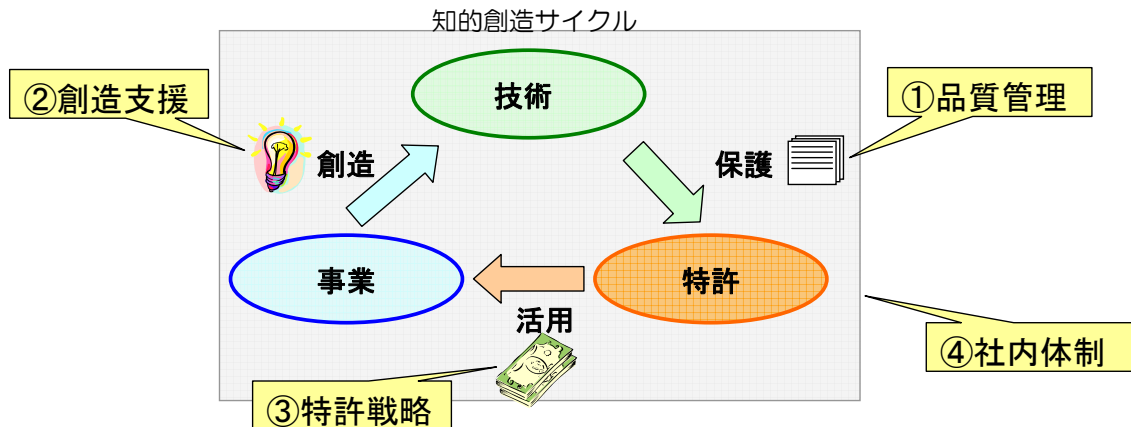
■ 特許取得の活動プロセスの中で、利益の源泉となる競争上の優位性を作り出す

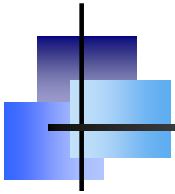


1. 特許的思考によるアイデア発想の狙い

■ 特許の質を上げるための4つのポイント

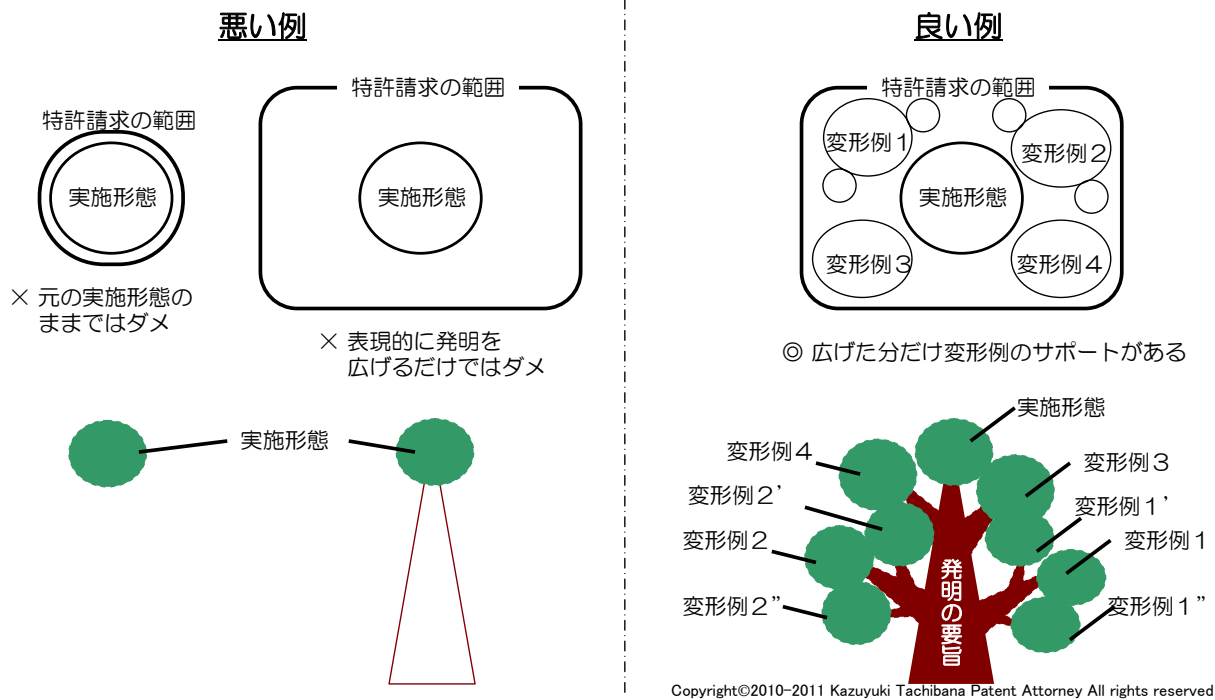
- ① 特許明細書の質を上げる → 品質管理
- ② 発明の質を上げる → 技術者の創造性を引き上げる
発明をブラッシュアップする
- ③ 特許戦略を立てる → 特許を取得する目的を考える
- ④ 社内体制を整える → 知財活動がしやすい体制・連携の仕組み



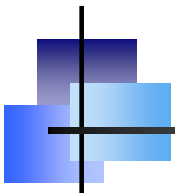


1. 特許的思考によるアイデア発想の狙い

■ 質の良い発明、広くて強い特許とは

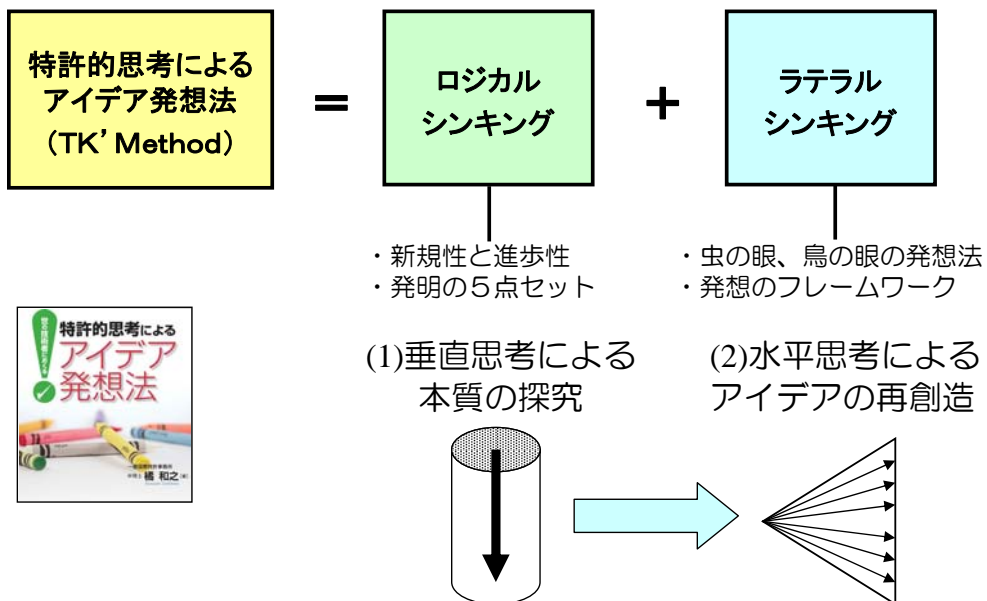


Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved

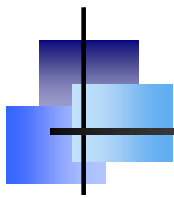


2. 特許的思考によるアイデア発想法

■ 特許的思考によるアイデア発想法



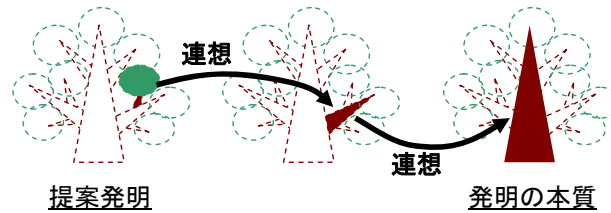
Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved



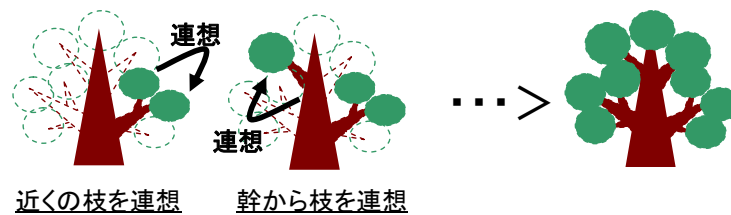
2. 特許的思考によるアイデア発想法

★ 連想による発想

(1) ロジカルシンキング

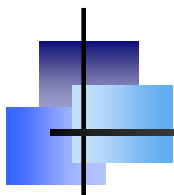


(2) ラテラルシンキング



Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved

7

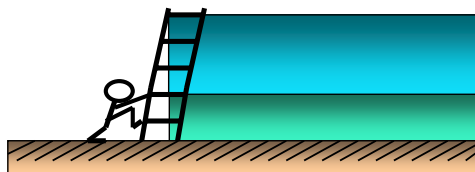


2. 特許的思考によるアイデア発想法

■ ロジカルシンキング [1]

新規性と進歩性

- 従来技術と差別化されたものが特許になる
- 差別化の程度は、当業者が簡単には考え付かない程度の改良
- 技術者が新規性・進歩性の意識を常に持つことが大事



進歩性
新規性
従来技術

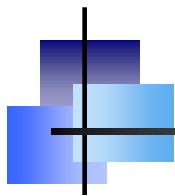
発明の本質は、従来技術との比較関係で決まる

★ どういうものが特許になって、どういふものが特許にならないか

★ どう考えれば特許になるか

Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved

8



2. 特許的思考によるアイデア発想法

■ ロジカルシンキング [2]

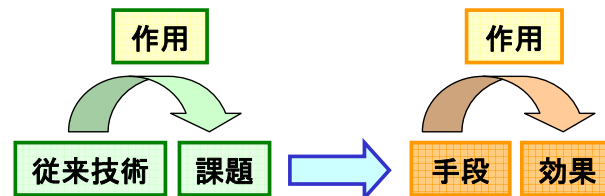
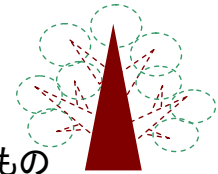
発明の5点セット

・・・発明の本質を捉える

◆ 従来技術・課題・手段・作用・効果の5点セットで捉えられる、上位概念化された思想

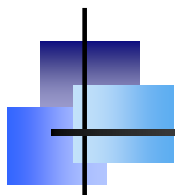
=「発明の開示」の欄に記載するもの。

- 幹のみで、余分な枝葉が一切ついていない状態の思想
- 請求項は、発明の要旨を様々な戦略に従って単に表現したもの



Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved

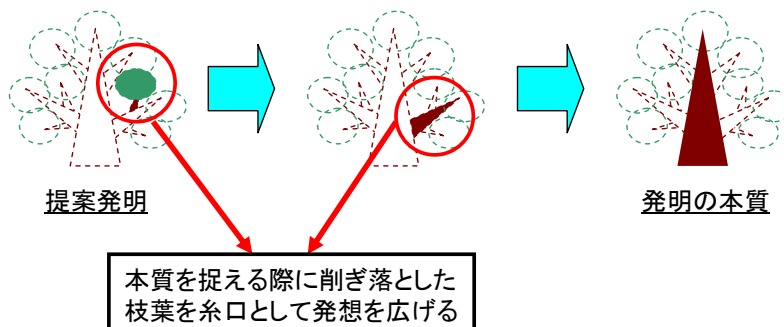
9



2. 特許的思考によるアイデア発想法

■ ラテラルシンキング [1]

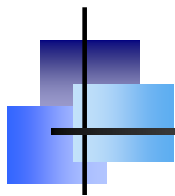
虫の目の発想法



- 発明の本質を捉える際に削ぎ落とした枝葉は何か
 - ✓ 枝葉に相当する個々の構成要素を別パターンに変えてみる

Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved

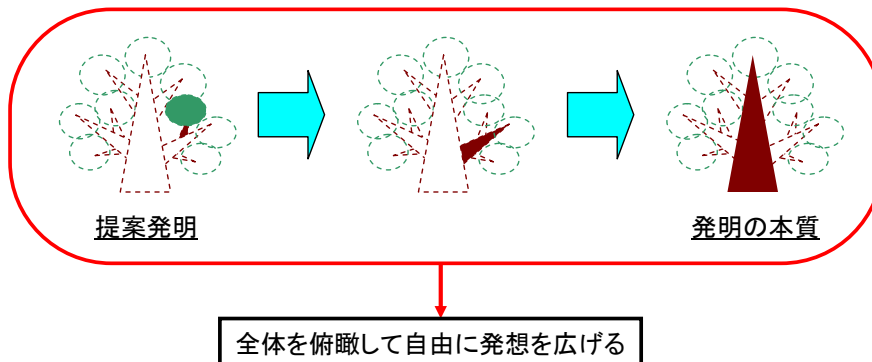
10



2. 特許的思考によるアイデア発想法

■ ラテラルシンキング [2]

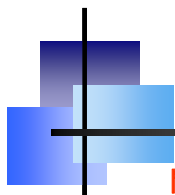
鳥の目の発想法



- アラや欠点、矛盾を探し、その解決方法を「発明の5点セット」で考える
 - ✓ 思い込みを捨てて、自分の発明を少し疑ってみる
 - ✓ 固定観念や常識を意識的に否定する
 - ✓ 制約を外す

Copyright©2010-2011 Kazuyuki Tachibana Patent Attorney All rights reserved

11



技術者の発明能力アップ 出張研修

**開発型企業にとって、技術者の生む発明こそが競争力の源泉。
技術者の発明能力を向上させるのが「特許的思考によるアイデア発想法」です！**

「特許取得している企業は、取得していない企業に比べてヒット商品が生まれている割合が高い」という事実をご存知ですか？
ヒット商品を作るには、技術の創造能力を磨くことが大切です。それには、社長一人がアイデアの源泉という状態ではなく、個々の技術者による創意工夫がアイデアの源泉となる企業風土をつくらなければなりません。
本出張研修がテーマとする「特許的思考によるアイデア発想法」は、技術者の発想の視野を広げ、アイデアに深みと広がりを持たせるのに役立つ手法です。技術者がこの発想法を身に付ければ、次のよう効果が期待できます。



- ▶ 埋もれがちな価値あるアイデアを顕在化させ知財として活用できる！
- ▶ 当初目的以外の多分野にもアイデアを発展させることができる！
- ▶ 広くて強い知財を創造して企業競争力を高めることができる！

＜参加者の声＞



STEP1 特許知識のツボ

STEP1 発明能力を高める特許知識のツボ

「何が特許になって」、「何が特許にならないのか」ということを技術者が感覚的に理解するための研修です。
貴社の技術分野における特許を事例に挙げて分かりやすく解説します。

STEP2 アイデア発想法

STEP2 革新技術の創造能力を高める特許的思考法(TK' Method)

深く論理的に掘り下げて技術の本質を追求するロジカルシンキングと、広く水平的に新しい可能性を探るラテラルシンキングとを組み合わせることで、質の良い発明を生み出すのに有用なアイデア発想法を学ぶ研修です。
アイデア発想の演習も行います。

STEP3 発想の実践

STEP3 特許的思考法によるアイデア発想の実践(演習)

STEP2で身に付けた特許的思考法(TK' Method)を実践して、特許出願が可能な発明を実際に生み出すことを目指します。
貴社の実際の課題や開発テーマをもとに、講師がファシリテーターとなってアイデア発想を進めます。

・今までは限定した技術に対してのみ考えてしまっていたが、そこから考えが広がっていく手法に興味を持った。今後の業務の中で生かしていきたい。

・通常の開発業務の中に多くの発明が含まれているのでは？ということに気がきました。

・特許というと、難しい発明を新規に考えなければいけないというイメージを持っていたが、今あるものの課題を改善することなんだと考え方が変わりました。自分の考えたことの根本を理解し広げていくことを実践していきたい。

・漠然とした見方を整理した見方・考え方としてご教授いただき、日頃の製品設計・競合調査の際に役立てたいと感じました。

・虫の眼・鳥の眼の発想法がとても参考になった。枯れた技術でも特許を出願できそうな気がした。